



**2025年2月期
第3四半期決算説明資料**

2025年1月10日

株式会社ツインバード 証券コード：6897

2025年2月期 第3四半期決算（累計）ハイライト

当3Q累計期間は大型OEM製品の前期出荷完了に加え、FPSC製品需要減少により前年同期比減収減益 一方、当3Q会計期間（9～11月）では収益性の高いD2C、インバウンド需要に対応したホテル向け製品、病院向け業務用冷蔵庫の売上が増加し前年同期比増収 円安による原価高騰等の影響を受けるが、原価低減推進及び販管費抑制により営業損失を圧縮し回復基調

※当3Q会計期間の業績については、補足資料P14を参照

売上高

66.9億円
(前年同期比 Δ 3.8%)

四半期純利益

Δ 2.0億円
(前年同期比 Δ 0.2億円)

売上総利益率

27.8%
(前年同期比 Δ 3.8pt)

家電製品事業
セグメント利益*

1.8億円
(前年同期比 Δ 25.4%)

営業利益

Δ 3.9億円
(前年同期比 Δ 1.0億円)

FPSC※事業
セグメント利益*

0.2億円
(前年同期比 Δ 82.8%)

経常利益

Δ 3.4億円
(前年同期比 Δ 0.9億円)

自己資本比率

70.9%
(前期末比 Δ 2.2pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用6.0億円）を除外

目次

1. 2025年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2025年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2025年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2025年2月期 通期業績予想

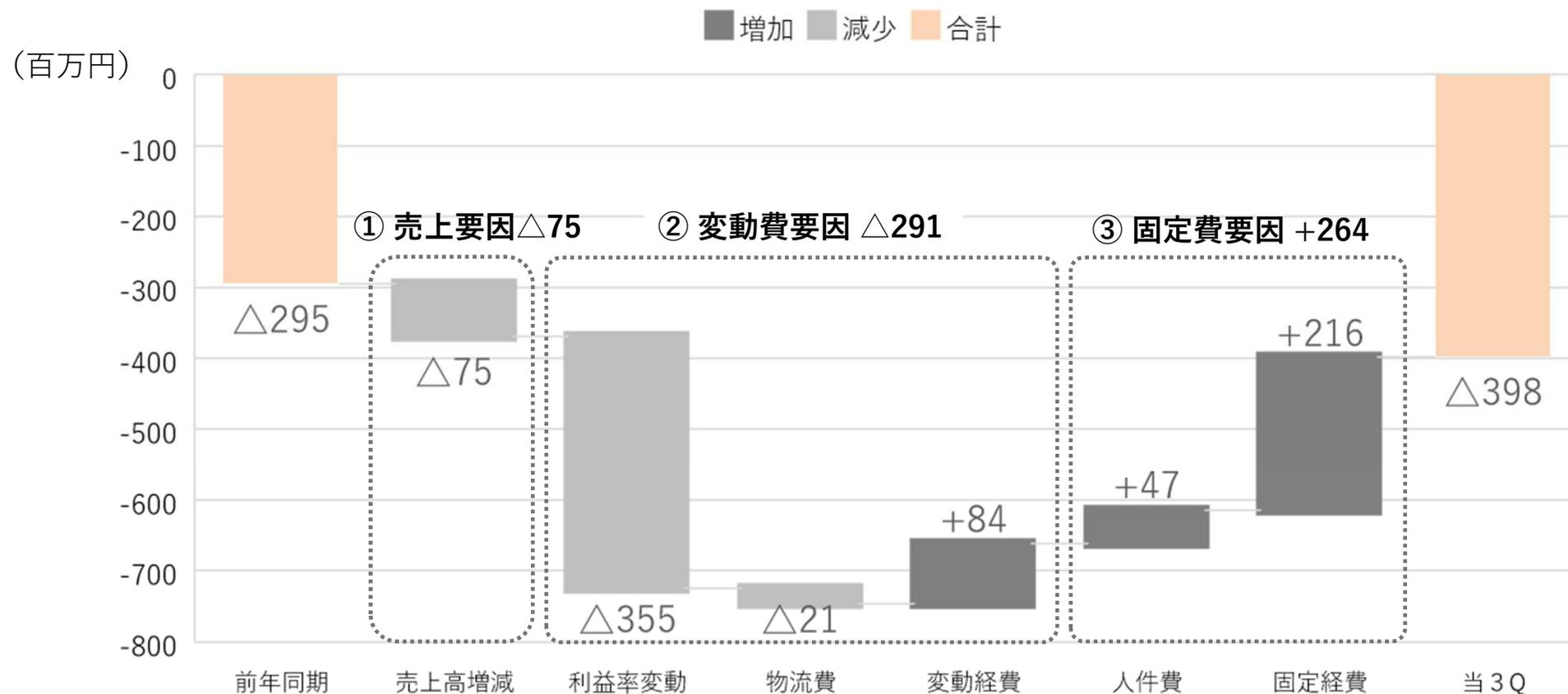
補足資料：四半期別業績数値

2025年2月期 第3四半期（累計） 損益概況

単位：百万円	2024年度	2023年度			(参考)
	3Q 累計 実績	3Q 累計 実績	前年同期比 差額 増減率		2024年度 通期 業績予想
売上高	6,690	6,952	△262	-3.8%	10,500
売上総利益	1,862	2,197	△335	-15.3%	
売上高比	27.8%	31.6%	-3.8pt		
営業利益又は営業損失（△）	△398	△295	△103	-	200
売上高比	-6.0%	-4.2%	-		1.9%
経常利益又は経常損失（△）	△347	△249	△97	-	180
当期純利益又は四半期純損失（△）	△208	△183	△25	-	130

2025年2月期 第3四半期（累計） 営業利益：前年同期比増減の要因分析

①大型OEM製品の前期出荷完了 及び FPSC製品需要減少による減収の影響に加え、②歴史的な円安水準による原価高騰に対して原価低減を推進するも変動費率は悪化 ③業務委託の内製化やローコストオペレーションにより固定費は前年同期より圧縮するものの、当第3四半期累計期間の営業損失は前年同期より103百万円増加



2025年2月期 第3四半期（累計） セグメント別業績概況

- 家電製品事業は、大型OEM製品の出荷が前期に完了した影響により前年同期比減収 歴史的な円安水準の長期化による原価高騰のため、セグメント利益は前年同期より減益
- FPSC事業は、冷凍機単体を供給する海外大手取引先の在庫調整による出荷減少に加え、ワクチン運搬庫のメンテナンス（リフレッシュサービス）需要が一巡したため、前年同期より減収減益

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2024年度 実績	2023年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率	2024年度 実績	2023年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率
家電製品事業 売上高比	6,439	6,469	△29	△0.5%	186	250	△63	△25.4%
FPSC事業 売上高比	250	483	△233	△48.2%	21	123	△102	△82.8%
調整額					△606	△668	62	
全社 計 売上高比	6,690	6,952	△262	△3.8%	△398	△295	△103	-
					△6.0%	△4.2%	-1.7pt	

2025年2月期 第3四半期（累計） 販売チャネル別 売上高の推移

(百万円)

販売チャネル別 売上高



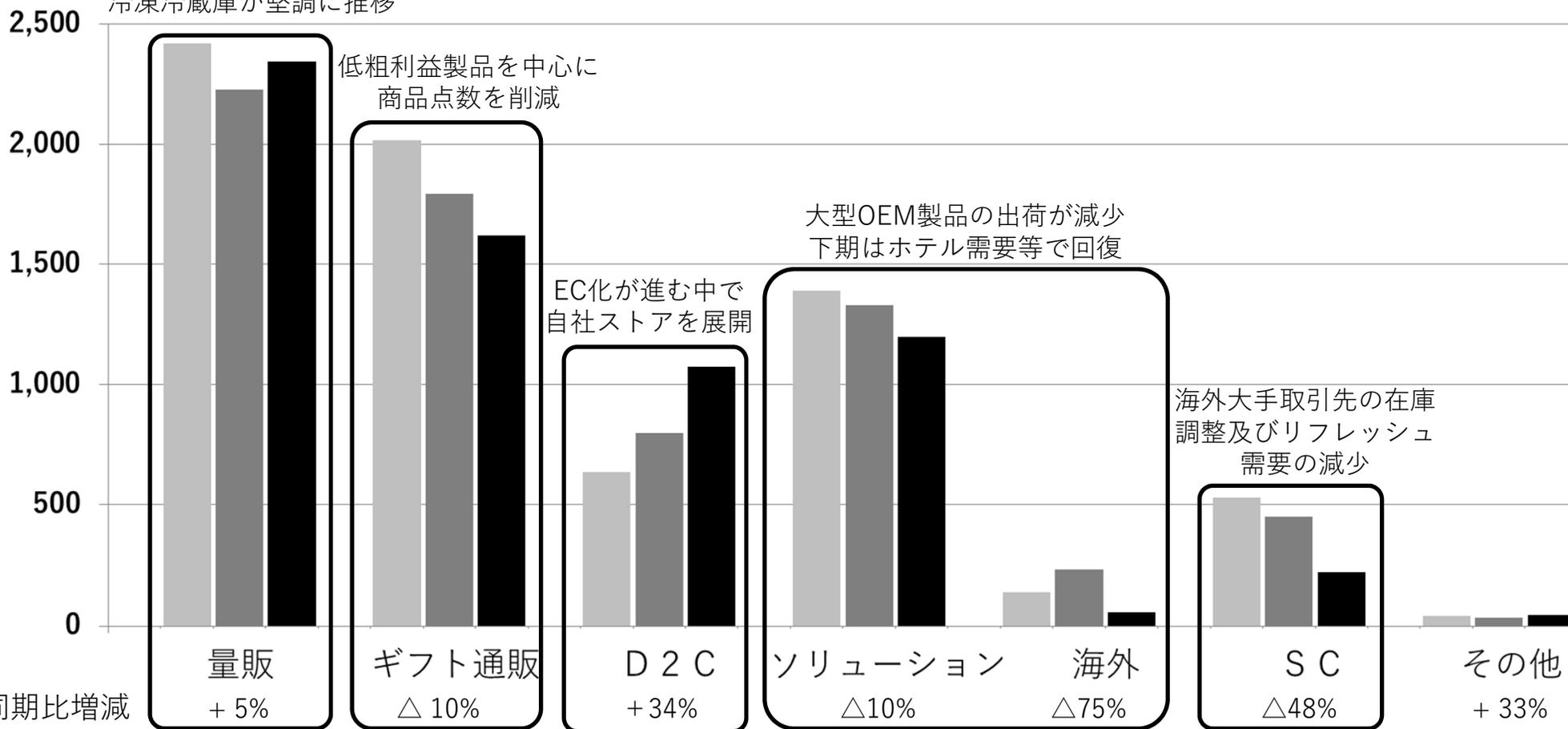
ラインナップを拡充した
冷凍冷蔵庫が堅調に推移

低粗利益製品を中心に
商品点数を削減

EC化が進む中で
自社ストアを展開

大型OEM製品の出荷が減少
下期はホテル需要等で回復

海外大手取引先の在庫
調整及びリフレッシュ
需要の減少

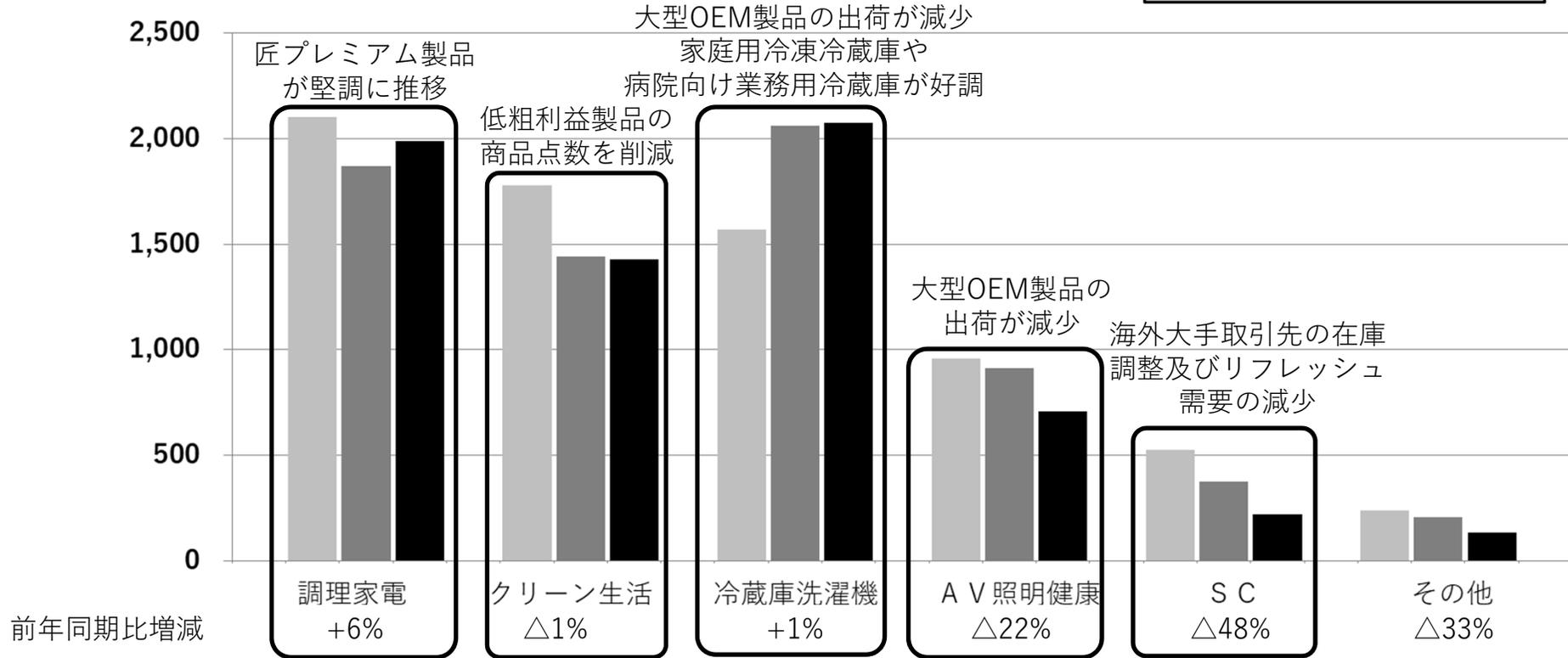


前年同期比増減

2025年2月期 第3四半期（累計） 商品ジャンル別 売上高の推移

(百万円)

商品ジャンル別 売上高



匠プレミアム製品
が堅調に推移

低粗利益製品の
商品点数を削減

大型OEM製品の出荷が減少
家庭用冷凍冷蔵庫や
病院向け業務用冷蔵庫が好調

大型OEM製品の
出荷が減少

海外大手取引先の在庫
調整及びリフレッシュ
需要の減少



全自動
コーヒー
メーカー
CM-D465B



匠ブランド
トースター
TS-D486W



ドック吸引式コードレス
スティック型クリーナー
TC-E292W



中身が見える
冷蔵庫
HR-EI35B



スターリング
冷凍機
SC-UE15R

2025年2月期 第3四半期末 貸借対照表

前期末より新生活商戦の販売資金の回収が進み売上債権が減少 一方、年末商戦の売上増加に備え棚卸資産が増加
資本コストを意識した経営の実現に向け、段階的に資産の圧縮や適切な財務レバレッジの活用を進める

単位：百万円	2024年度			2023年度			
	3Q末	前期末	増減	3Q末	前期末	増減	
現預金	835	871	△35	仕入債務	258	318	△60
売上債権	1,274	1,942	△667	短期借入金	1,300	700	600
棚卸資産	3,290	3,021	269	長期借入金	517	690	△172
その他	379	494	△115	その他	1,112	1,314	△202
流動資産 計	5,780	6,330	△549	負債 合計	3,188	3,023	164
有形固定資産	3,596	3,651	△55	資本金・資本剰余金	5,149	5,143	5
無形固定資産	713	494	218	利益剰余金	2,543	2,893	△350
投資その他資産	854	737	117	その他	63	152	△88
固定資産 計	5,164	4,883	280	純資産合計	7,756	8,189	△433
資産 合計	10,944	11,213	△268	負債&純資産合計	10,944	11,213	△268
				自己資本比率	70.9%	73.0%	△2.2pt

目次

1. 2025年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2025年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

2025年2月期 通期業績予想（2024年4月12日公表値から変更なし）

- 家電製品事業は、年末商戦において前年比増収と堅調に推移したことに加えて、これからの最大の需要期である新生活商戦において、引き続き販売好調な匠プレミアム製品に加え、単独少人数世帯向け家庭用冷凍冷蔵庫及び炊飯器や電子レンジ、全自動洗濯機の新製品投入によるラインナップ強化で売上拡大。またインバウンド宿泊需要で好調なホテル向け製品や、入替え需要が回復している病院向け業務用冷蔵庫、デベロッパ向け浴室テレビなどについて、決算期末需要で売上の増加が見込まれ、前期比増収となる見込み

利益面では、当社の強みであるギフト及びソリューションの販売チャネルの底堅い利益貢献に加え、販売好調な調理家電を中心に大幅な原価低減を推進、変動費率を低減して損益分岐点を大幅に引き下げることで、前期比増益となる見込み
- FPSC事業は、年+9.6%成長*のバイオ医薬品市場における搬送・保管には、ドライアイスの使用に取って代わる厳密な温度管理（冷凍-20~-40°C 極冷凍-70~-85°C）のコールドチェーン構築が不可欠。FPSCの独自技術がグローバル市場でも高く評価され、燃油計測機や校正器などの分野において、欧米を中心に複数の企業と契約へ向け開発着手

世界保健機関（WHO）が定める医療機材品質認証（PQS：Performance, Quality and Safety）を2024年10月に取得

各国で医療機材を選定する際の基準となるWHOのPQSカタログに掲載。ワクチン運搬庫の国内及び海外販売活動を強化

単位：百万円	2024年度	2023年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	前期比 増減率
売上高	10,500	10,303	197	1.9%
営業利益	200	113	87	77.0%
売上高比	1.9%	1.1%	0.8pt	
経常利益	180	166	14	8.4%
当期純利益	130	108	22	20.4%

*出典：EvaluatePharma, Worldwide Prescription Drug & OTC Sales by Technology (2012-2026)

目次

1. 2025年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2025年2月期 通期業績予想

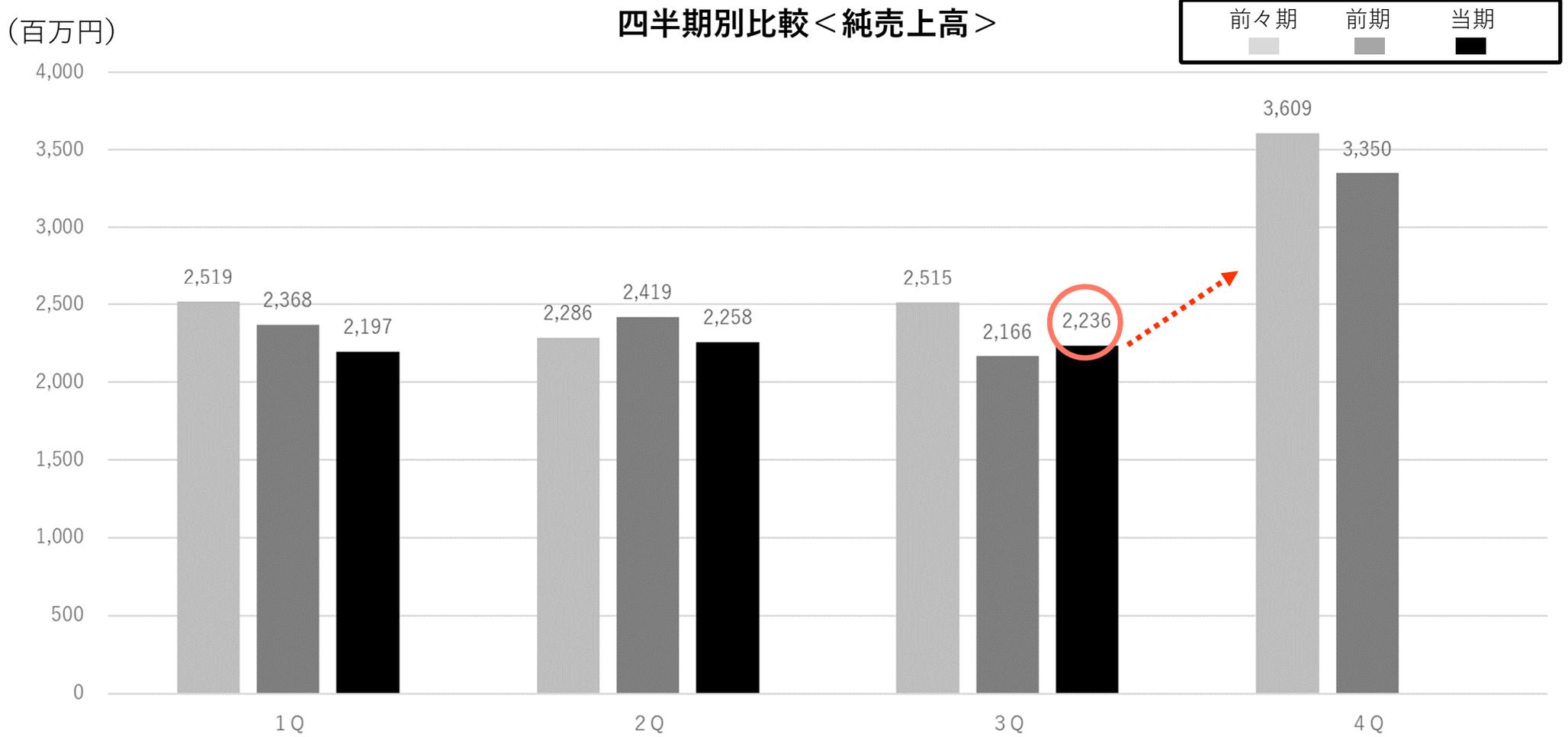
補足資料：四半期別業績数値

第3四半期（3ヶ月） 損益計算書

単位：百万円	2024年度	2023年度		
	3Q 実績	3Q 実績	前年同期比 差額	増減率
売上高	2,236	2,166	69	3.2%
売上総利益	690	749	△58	-7.8%
売上高比	30.9%	34.6%	-3.7pt	
販売費及び一般管理費	738	815	△77	-9.5%
売上高比	33.0%	37.6%	-4.6pt	
営業損失（△）	△47	△66	18	-
売上高比	-2.1%	-3.1%	-	
経常損失（△）	△19	△56	36	-
四半期純利益又は四半期純損失（△）	13	△39	53	-

四半期別業績数値 純売上高

※前々期：連結 前期&当期：個別



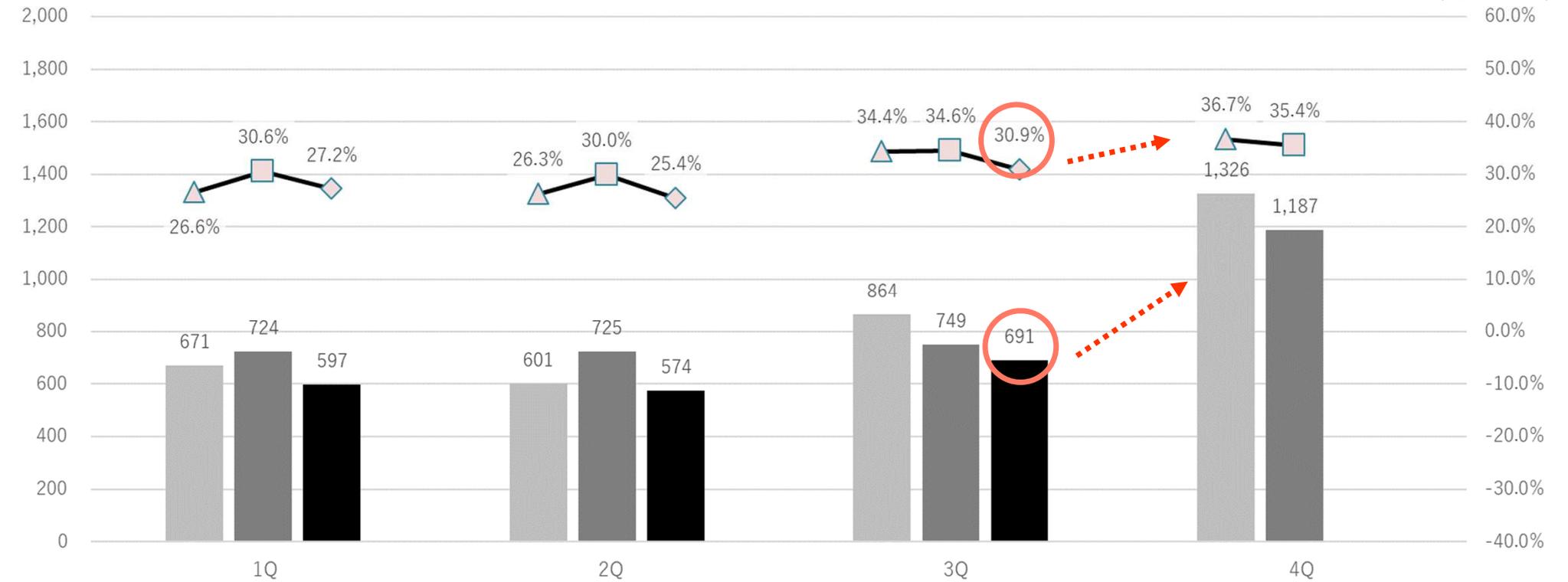
四半期別業績数値 売上総利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較 < 売上総利益 >



(百万円)



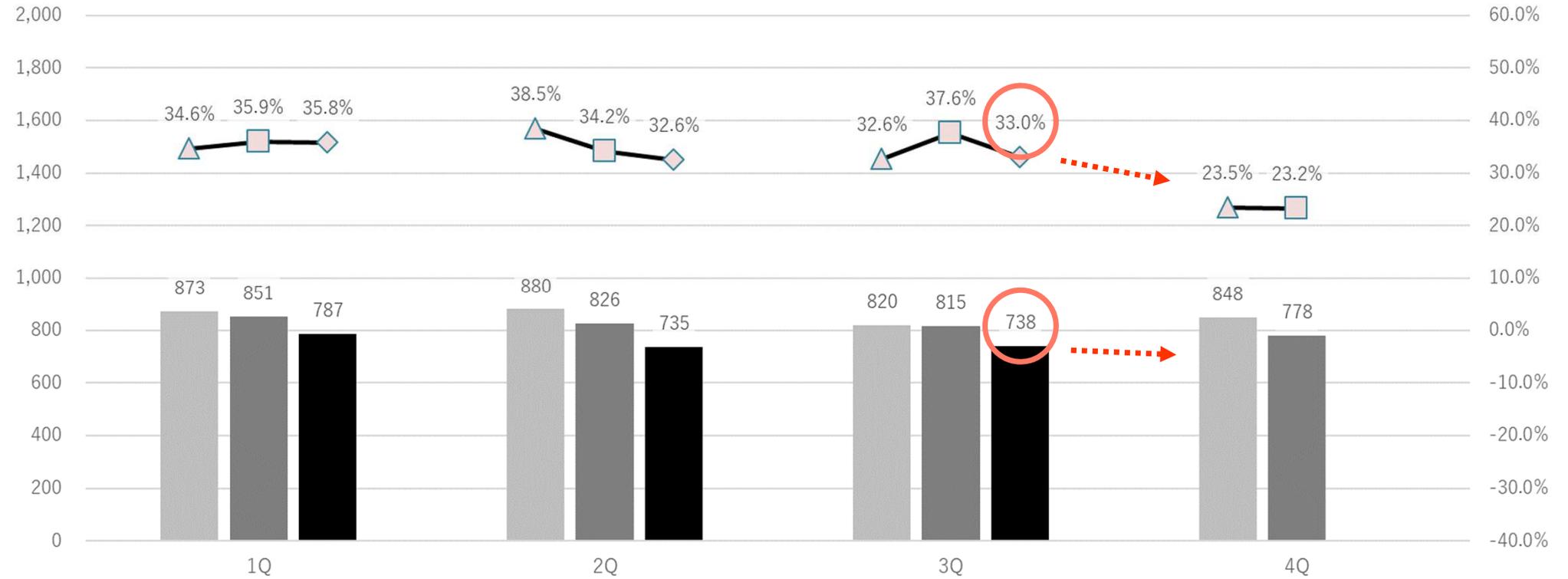
四半期別業績数値 販売費及び一般管理費

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<販売費及び一般管理費>



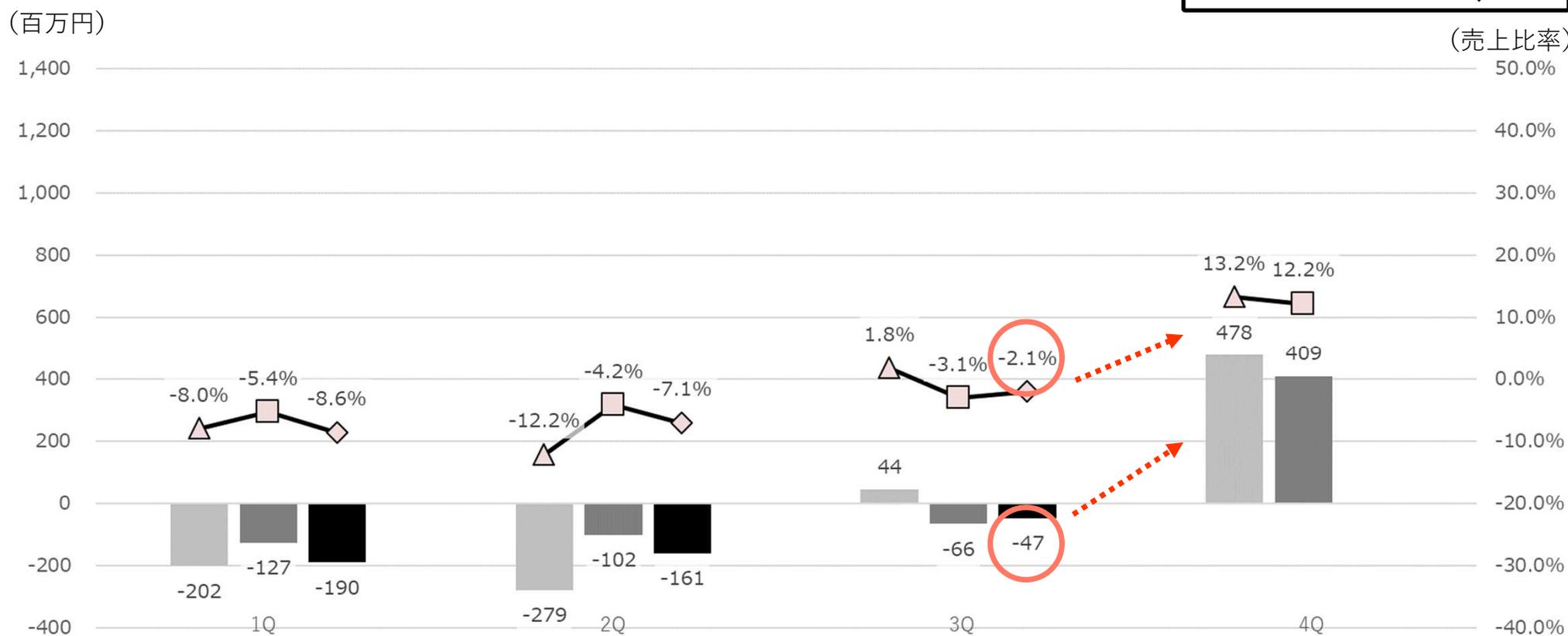
(百万円)



四半期別業績数値 営業利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<営業利益>



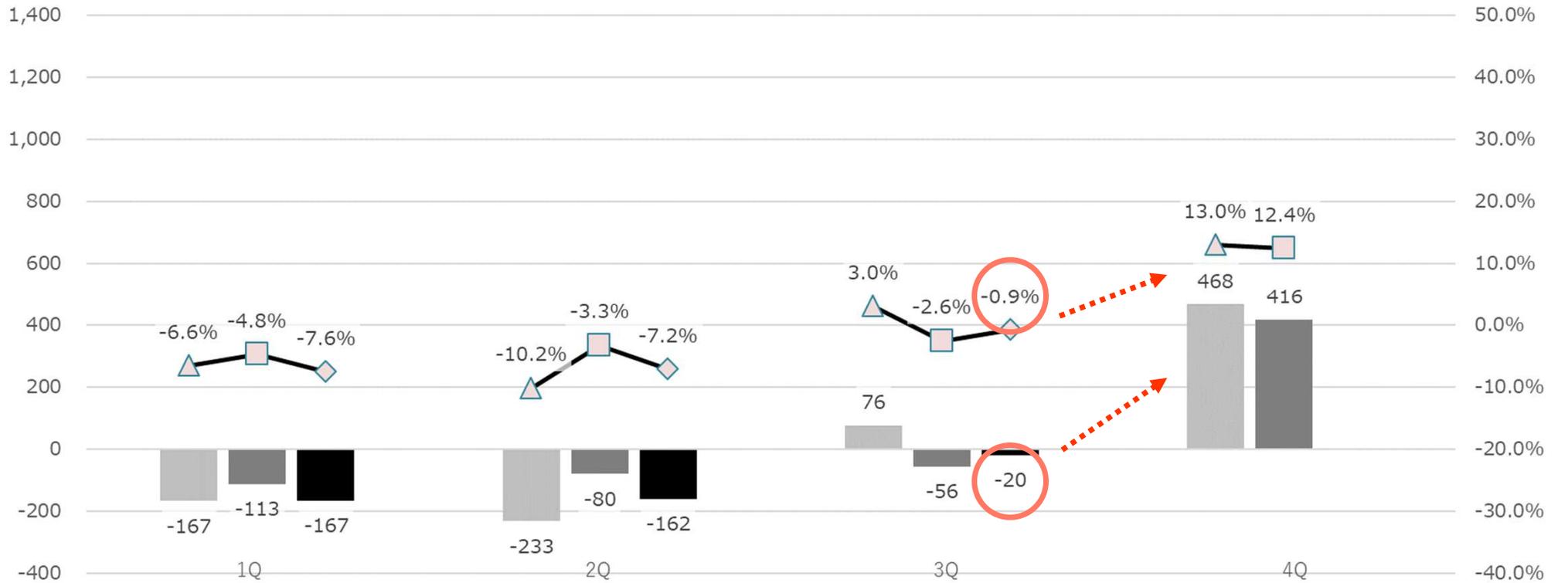
四半期別業績数値 経常利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<経常利益>



(百万円)



四半期別業績数値 四半期純利益

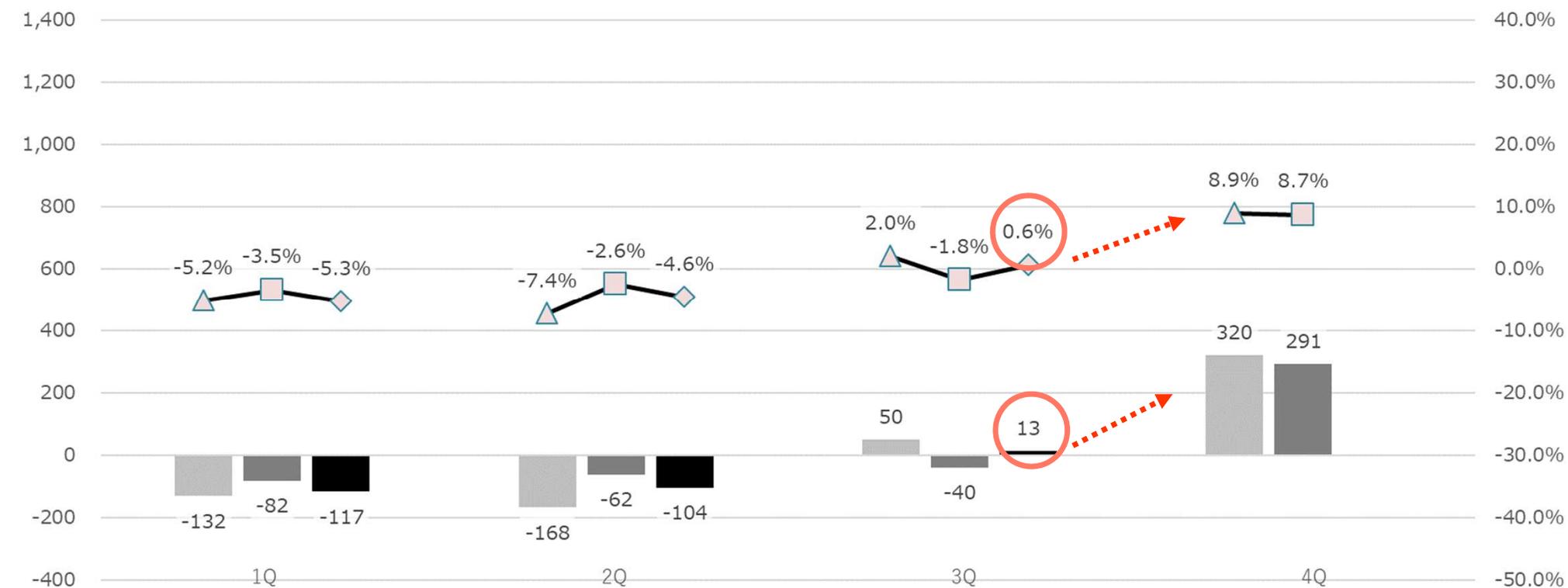
※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<四半期純利益>

(百万円)

前々期 ▲ 前期 ■ 当期 ◆

(売上比率)





TWINBIRD

IR・決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。